

かながわ信用金庫の環境への取組みについて

【当金庫の環境方針】

I 基本理念

かながわ信用金庫は、美しい自然環境のもとで、健全経営に徹し、豊かな地域社会づくりに貢献するとともに、協同組織による地域金融機関として社会的使命と公共的責任を自覚し、役職員が一丸となり、地域環境ならびに地球環境の保全に積極的に取り組みます。

II 基本方針

1. 環境保全活動の継続と向上

当金庫は事業活動を通して環境保全に関わる様々な仕組みを構築することを社会的責任ととらえ、定期的に活動状況を評価して継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規等の遵守

環境に関連する法令、条例および規制等ならびに当金庫が同意する要求事項を遵守し、一層の環境保全に取り組みます。

3. 省資源・省エネルギーの推進および環境汚染の予防

当金庫の事業活動による地球環境への負荷を軽減するため、省資源、省エネルギーおよび廃棄物の削減を推進するとともに、環境汚染の予防に努めます。

4. 地域社会の環境改善への貢献

金融商品・サービスおよび情報等の提供を通じて、環境保全に取り組むお客様を支援し、地域社会の環境改善に貢献します。

5. 啓発活動の推進

役職員一人ひとりが環境に配慮した行動に努め、定着することを目指し、環境に対する意識の向上を図ります。

6. 環境方針の公開

この環境方針は、全役職員に周知徹底するとともに、一般に公開します。

【トライバンクグループ（当金庫・平塚信用金庫・さがみ信用金庫） でのトライバンクエコプロジェクト】

平成21年8月、トライバンクグループの環境問題に対する取組みとして、相模湾を網羅するスケールメリットをいかすため3金庫でトライバンクエコプロジェクトを立ち上げました。

【河川の清掃実施】

地域の皆さまが実施している平作川(横須賀市)や田越川(逗子市)の清掃活動に、職員が参加しています。

【クールビズ、ウォームビズの実施】

夏季においては、クールビズを平成 21 年から実施し、全部室店室温 28℃を目標として、男性職員はノー上着・ノーネクタイを励行しています。また、平成 23 年から女性職員は夏用の制服としてオーバーブラウスを着用しています。

冬季においては、ウォームビズを平成 22 年から実施し、全部室店室温 20℃を目標として、職員に対し室温に合わせた服装を呼びかけています。

【通年ノーネクタイの実施】

令和 4 年より、クールビズ以外の期間においても、男性職員のノーネクタイを実施しています。

【脱炭素化に向けた店舗の開設】

かながわ信用金庫の横浜営業部、栄町支店、片瀬支店および綾瀬支店では、太陽光発電システムを配置し、それぞれの店舗内で使用する電力の一部を賄っています。

また、店舗や本部の照明を、LEDへ順次切り替えています。

【環境を配慮したローンの創設】

環境に配慮したものの購入・設置資金に使用のご融資の場合に、金利の引き下げを実施しています。

- ・マイカーローン

電気自動車およびハイブリット車・クリーンディーゼル車・天然ガス車・メタノール車の購入資金は、借入れ時点の店頭表示金利から一定金利の引き下げを実施しています。

- ・リフォームローン

高効率給湯器や太陽光発電設備の購入および同設備が含まれるご自宅のリフォーム資金は、借入れ時点の店頭表示金利から一定金利の引き下げを実施しています。

また、太陽光発電設備を購入し、ご自宅に設置する資金に対するローンも取り扱っています。

【グリーンボンドへの投資】

かながわ信用金庫は、地球温暖化をはじめとした環境問題の解決に資する再生可能エネルギー事業等の資金を調達するために、企業や自治体等が発行する、グリーンボンドへの投資を行っています。

社会的問題や環境問題の解決に向けた事業等を資金面でサポートすることで、持続可能な社会が形成され、地域経済の発展に繋がる取組みとして進めています。

【神奈川県SDGsアクション「フードドライブ」活動の実施】

かながわ信用金庫は、かながわSDGsパートナー（※1）として、SDGsに対する理解促進、意識向上、また、地域貢献活動として、役職員参加型の「フードドライブ」活動（※2）を実施しました。令和6年7月12日から7月26日までの活動期間で、役職員の家庭およびお客様より433品、約78kgの食料が集まり、営業地区内のフードバンクへ寄付いたしました。

この活動により、家庭で使いきれない食品の廃棄を防ぐことができた点で、環境面でも効果的な取組みとなりました。

※1.かながわSDGsパートナー

SDGsの取組みを実施し、公表している企業、NPO、団体、大学（以下「企業・団体等」という）を「かながわSDGsパートナー」として神奈川県が登録し、これらの企業・団体等が連携、またパートナー間の連携を神奈川県が後押しすることで、県内のSDGsに関する企業・団体等の取組みを促進させることを目的としています。

※2.「フードドライブ」活動

コロナ禍で一層深刻化する社会課題に対して、神奈川県がSDGsを道しるべに多様な主体による「共助」を促進する取組みの一環として、家庭で活用されていない食品を持ち寄り、フードバンク等を通じて子ども食堂など食の支援が必要な方に届ける活動で、参加型のSDGsアクションとして実施されました。

【地域の脱炭素の取組みを支援】

横須賀市内17店舗等ならびに藤沢市内11店舗に、「かなしんカーボンニュートラルワンストップ窓口」を設置し、横須賀市や藤沢市の脱炭素に係る重点対策加速化事業に対応しています。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に資する脱炭素に向けた設備投資等の融資について、貸出金利を0.15%優遇する「かなしん脱炭素割り」を導入しています。

以上 当金庫が実施する環境への取組みの事例です。